

ネスト学習会

7月31日「更生医療の制度変更について」が都内の会議室で、9月21日「女性ポジティブのための学習会～Dr. 対馬ルリ子と話そう～」がネストにて、それぞれ開催されました。開催スタッフによる報告と参加者の感想文をあわせて報告をします。

■学習会「更生医療の制度変更について」

7月31日に都内の会議室に47名のHIV陽性者が集まって、この学習会が行われました。

障害者自立支援法の成立によって、HIVにかかる医療費はどうなるのだろうか、更生医療の制度はどうなってしまうのだろうか。そんな疑問や不安があちこちで聞かれるようになり、学習会を開催することになりました。この時点では法案がこのまま通るのかどうかははっきりせず不透明な部分も多くありましたが、わかることだけでも整理をしようということになったのです。

区の福祉事務所で実際にこの問題をフォローしている、蓮見 宜幸さん(身体障害者福祉司)が「身体障害者手帳・更生医療の基礎知識」を、宮川 善章さん(ケースワーカー)が「更生医療はどう改定されようとしているのか?」、そして、東京慈恵会医科大学附属病院のソーシャルワーカー、友田 安政さんに「制度利用のポイント」をお話いただきました。

休憩をはさんで後半は質疑応答。休憩時間中に参加者に書いてもらった質問票をもとに、講師3名がコメントをするという形式でしたので、たくさん具体的な質問がありました。

以下、参加者アンケートの自由記述より抜粋。

「現場・行政にたずさわる方からのタイムリーな情報が得られて良かったと思います。」

「参院を通過していないので見切り発車的な内容だったと思うが、前段階として知っていて、そんな内容だったと思う。」

「初めてこういう催しに参加しました。皆さん勉強していてビックリしました。」

「タイムリーな企画で大変ありがたいです。病院のMSWに聞いても、あと3ヶ月待ってくださいと言われてたもので、少し不安でした。でも概略がわかり安心しました。」

(報告: 矢島)

■女性陽性者のための学習会「～Dr. 対馬ルリ子と話そう～」

去る9月21日(水)の夜、久々に女性陽性者のための学習会が開催されました。講師の対馬ルリ子さんは産婦人科の医師で、都立病院の産婦人科医長などを経て、一人一人とじっくり向き合う医療をめざして女性総合外来「ウィメンズ・ウェルネス銀座クリニック」を立ち上げたそうです。

学習会には、パートナーの方を含めて8名が参加し、対馬さんが医学生の頃からの知り合いだという池上代表の司会で進行しました。HPV(ヒトパピロウイルス)と子宮頸がんのこと、そして妊娠、出産のしくみについて一通りお話を伺ったあと、ざっくばらんに聞きたいことを参加者からだしてもらいました。

子宮頸がんは早期発見早期治療をすればこわい病気ではなく、妊娠・出産も可能なこと。そのためには20代から定期検診をしたほうがいいこと。

女性がHIV陽性である場合の妊娠・出産について、人工授精や体外受精、帝王切開といった情報を整理したうえで、母子感染の確率を低く抑えて出産することが可能であることなどを、わかりやすく話していただきました。対馬さんの話

し方から女性やからだに対する温かいまなざしが感じられて、こんなドクターなら安心して話ができると思いました。

学習会は、また、なかなか他の女性陽性者と会う機会のない女性同士の交流の場ともなり、会が終わったあとも参加者同士の話がはずんだようです。今後もこのような学習会を開催する必要性を感じました。こんなテーマで話を聞きたい、話し合いたいということがありましたらお知らせください。

(報告: はらだ)

参加者感想文

「女性ポジティブの会に参加して」

ミカ

女に生まれたからには、赤ちゃんを身ごもって、ママになって、家族を築くことを夢見る。それって、普通の事じゃない?いくら、ポジだからって贅沢でもわがままでもないよね。少し困難かもしれないけど…決して希望を捨てたりしないよ。1人で出来る事じゃないし、思ってたってする事じゃないのは、誰でも変わらないもん。ただ少し心配事があって、神頼みが多くなりそうだけど。ただ1つは、本当に信頼できるパートナーと計画する事。

今回のミーティングで、同じ立場の女の子と考えを話し合う事が出来て本当に良かった。そして、心地よい環境で専門家に直接質問する機会がめったにないし、いろんな意味で自信になった。今は、まだ赤ちゃんは早いけど、いずれ来る日のために、今から出来る努力をしようと思う。

「情報を共有しあうことって大事」

ななこ

子供は欲しい、でも子供には感染させたくない、パートナーにうまく理解してもらえるだろうか、帝王切開って?母乳はあげられないのか等、妊娠・出産については以前から疑問や不安を抱えていました。特に陽性者ならではの、今後どういった対応をしていったらいいのかよく分からなかったのです。

私はただでさえ無知であったため、その点について先生から詳しく丁寧に説明をいただいとでもあり難く思いました。なかなか直接専門の方から長時間にわたってじっくりお話をする機会がないのでこういった学習会はとても貴重で、参加できて本当に良かったです。

また同じ立場の女性の方達との意見交換も大変参考になりました。情報を共有しあうことって本当に大事だと実感し、話し合うことで大分精神的に安心することができた気がします。子供を産むのはもう少し後になりそうですが、これから何が出来るか、自分を見つめ直す良いきっかけになりました。

また機会がありましたら参加したいと思えます。対馬先生はじめ主催して下さった皆様どうもありがとうございました。



池上代表とDr. 対馬(右)